

東京港大井ふ頭（都有地内）において確認された「ヒアリ」について

1. 確認までの経緯

- ・日時不明 中国・三山港で積込み。
- ・6月23日 香港でトランジット(積み替え)。
- ・6月27日 大井コンテナふ頭に到着、コンテナを陸揚げ。
- ・6月30日 大井コンテナふ頭から当該コンテナを搬出。
- ・6月30日～ 千葉県内の荷主にて、積荷の取り出し。
- ・7月 3日 コンテナ業者が、大井ふ頭に返却されたコンテナの点検作業中に、内部でアリの1匹発見するとともに、環境省関東地方環境事務所に通報。
コンテナ業者が、応急駆除を実施し、アリのサンプルを採取。
- ・7月 4日 東京都が、アリのサンプルを環境省関東地方環境事務所に持込。
- ・7月 6日 専門機関により当該アリがヒアリであることを確認。
- ・7月 7日 環境省、国土交通省および東京都が合同で、ふ頭の緊急調査を実施。
調査の結果、当初発見したコンテナ内の床から、新たに100匹以上のヒアリを確認。
確認されたヒアリは、殺虫剤により、駆除。

2. 発見場所

大井コンテナふ頭5号バース(品川区八潮二丁目)

3. 対応状況

- ① 国、東京都の対応
 - ・大井コンテナふ頭の緊急調査を実施。
 - ・大井コンテナふ頭内に毒餌等を設置し、拡散を予防。
- ② 区の対応
 - ・区ホームページやフェイスブック等により、周知。
 - ・大井コンテナふ頭周辺の事業者へ、個別訪問し、注意喚起の実施。
 - ・引き続き、国や東京都と連携を図り、情報共有を行う。

4. 今後について

環境省から、下記の依頼を受ける予定。

- ・周辺を利用する関係者に対して、ヒアリ確認に関する周知、およびヒアリ侵入の恐れがな
いか確認の依頼。
- ・緊急調査の際の協力。

ヒアリの簡易的な見分け方（暫定版）

2017.7. 環境省外来生物対策室

※ 今後必要に応じて更新していきます。

ヒアリかどうかは、専門家が顕微鏡を使って観察しなければ、判断できませんが、ヒアリの疑いの有無は、下記の要領でおおよそわかります。

肉眼で

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部の色は暗め
- ・ 働きアリの大きさが 2.5mm-6.5mm と連続的な変異がある
- ・ 行列を作り餌に集まる

ヒアリでないもの

- ・ 黒いアリ（ただし海外には黒いヒアリ類もいます）
- ・ 2.5mm 以下の小さいアリ
- ・ 赤っぽいアリでも大きさに連続的な変異のないもの

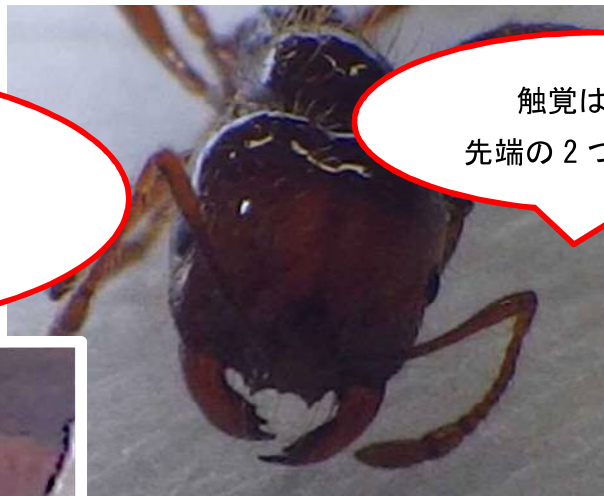
顕微鏡で

頭楯前縁中央に小突起
(口もとにでっぱり)

アカカミアリは頭楯前縁中央に小突起はない。他の特徴は同じ。



触覚は 10 節
先端の 2 つが大きい



腹柄が 2 節
(背中に 2 つのコブ)



あくまで簡易なものです。
正確な同定は専門機関に
お願いすることとなります。